

# 栄養管理報告書集計結果(児童福祉施設・幼稚園)

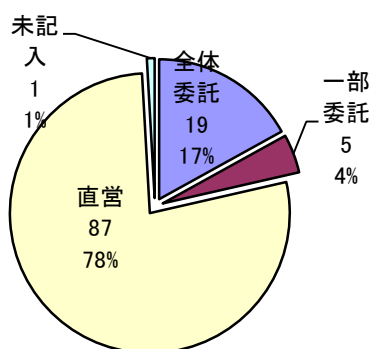
\*衛生行政報告例区分や報告書様式区分とは異なりますが、集計内容を考慮し、対象者の年齢から児童福祉施設と幼稚園を併せています。

## I 施設状況

### 1 施設数

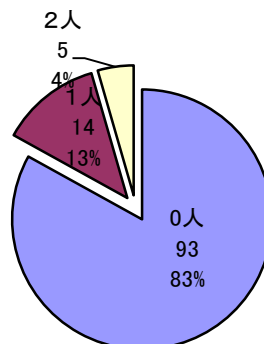
県全体	新川	中部	高岡	砺波
112 (内幼稚園14)	20	10	60 (内幼稚園12)	22 (内幼稚園2)

### 2 運営状況



### 3 施設に所属する管理栄養士・栄養士数\*

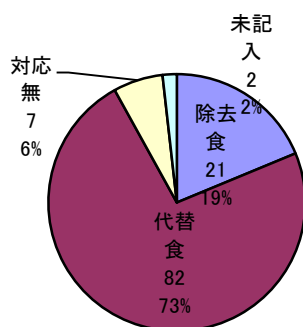
\*「管理栄養士+栄養士」の数  
委託業者所属の数は含まない。



## II 運営状況・栄養管理状況

### 1 個人別対応・配慮等について

図1-食物アレルギー対応について



※「対応無」は該当児がいない場合も含む

図2-(除去食・代替食対応ありの場合) 指示書・診断書等の定めについて

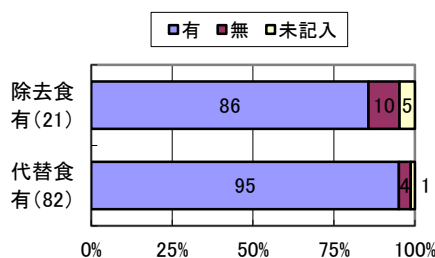
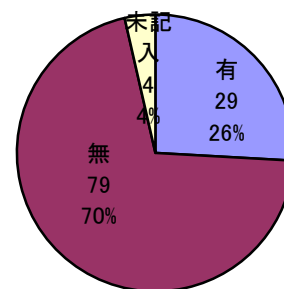


図3-特別な給食調理対応



- ・食物アレルギー対応で最も多かったのが代替食で73%、次いで除去食19%であった。
- ・食物アレルギー(除去食・代替食)対応にあたり、指示書・診断書等の定めが有としたのが除去食で86%、代替食で95%であった。
- ・特別な給食調理対応は26%の施設で実施していた。

## 2 栄養管理等状況

図4①－野菜量(g)≪1～2歳≫ ※数値は実施(提供)量

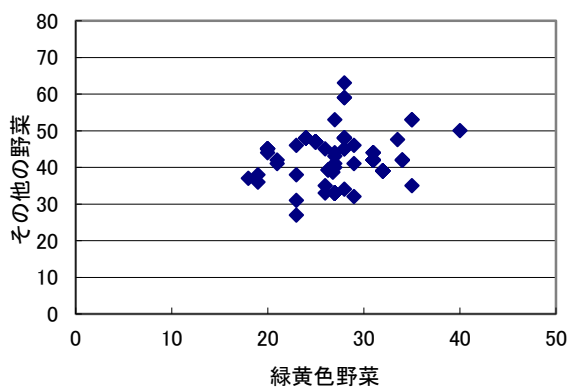
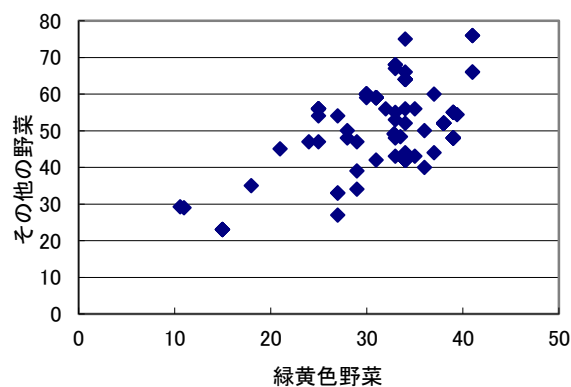


図4②－野菜量(g)≪3～5歳≫ ※数値は実施(提供)量



- ・ 1～2歳の野菜提供量(緑黄色+その他)について、最も多く提供している施設(91g)と最も少なく提供している施設(50g)の差は41gであった。
- ・ 3～5歳の野菜提供量(緑黄色+その他)について、最も多く提供している施設(117g)と最も少なく提供している施設(38g)の差は79gであった。

図5－脂肪エネルギー(%)≪1～2歳≫ 図6①－食塩量(g)≪1～2歳≫

※幼稚園含まれておりません

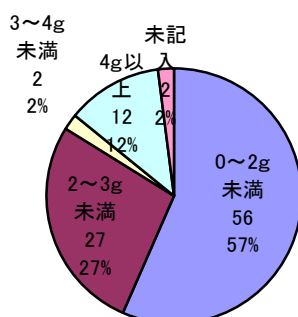
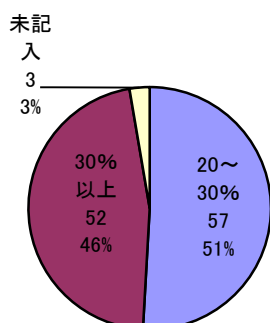
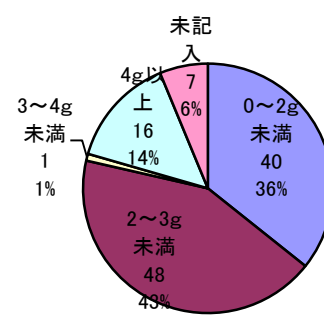


図6②－食塩量(g)≪3～5歳≫

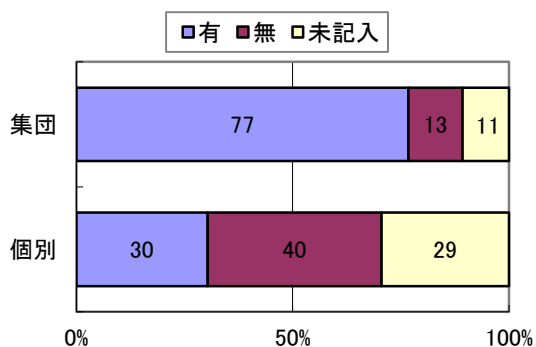
※数値は実施(提供)量



- ・ 脂肪エネルギー比率は、食事摂取基準の20～30%を上回る施設(30%以上)が51%みられた。
- ・ 1～2歳の食事摂取基準(1日4g未満)に照らし、1食で2g以上提供している施設が41%あった。
- ・ 3～5歳の食事摂取基準(1日5g未満)に照らし、1食で3g以上提供している施設が15%あった。

## 3 食育活動・栄養指導の状況

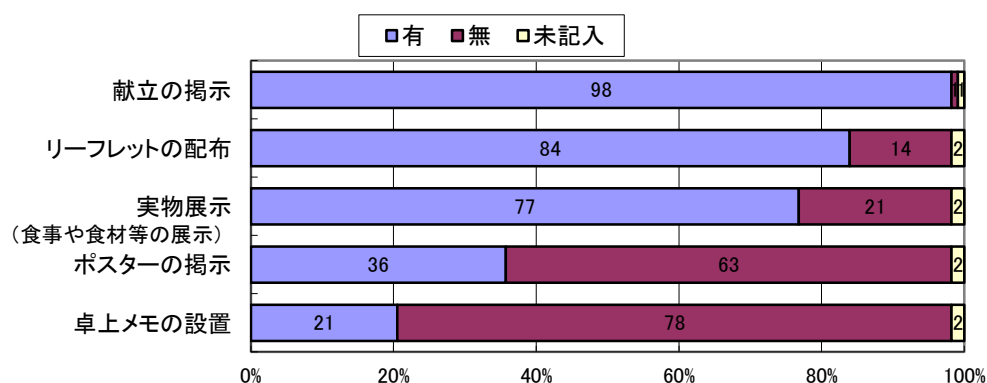
図7－個別・集団の食育活動・栄養指導の状況



- ・ 個別よりも集団の食育活動・栄養指導を実施している施設の方が多く、77%であった。
- ・ 個別と集団ともに0回と回答した施設は、13施設で全体の12%であった。

## 4 栄養情報の提供

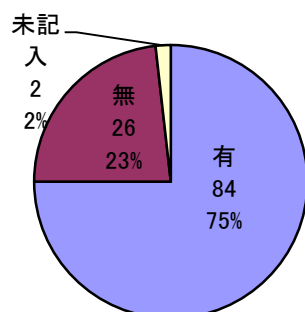
図8ー栄養情報の提供



- ・ 献立の掲示(提示)は98%の施設で実施されていた。そのうち、献立に栄養価が記載されている施設は19%であった。
- ・ 献立掲示に次いで多かったのは、リーフレットの配布で84%、次いで実物展示で77%であった。

## 5 給食提供の評価

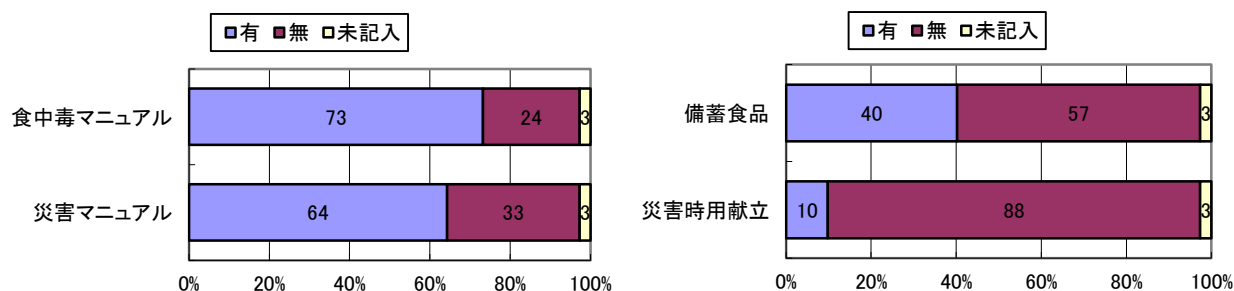
図9ー給食の評価 (喫食量調査の実施)



- ・ 喫食量調査は75%の施設で実施されていた。

## 6 健康危機管理体制について

図10ー健康危機管理体制



- ・ 食中毒マニュアルと災害マニュアルでは、食中毒マニュアルを有する施設の方が多かった。いずれのマニュアルも有しない施設は20施設であった。
- ・ 備蓄食品は40%の施設で有していた。一方、有していない施設は57%あった。また、備蓄食品の保有日数は1食分とした施設が10%、1日分とした施設が12%であった。
- ・ 災害時用献立を有する施設は10%であった。